

令和7年度（2025年度）
第1回渡島教育局管内
特別支援連携協議会

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

**「幼児児童生徒の自己実現に繋がる適切な学びの場」
取組事例集**

小学校

第1回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：小学校

「幼児児童生徒の自己実現に繋がる適切な学びの場」に係る具体の取組や事例

所属・学年・在籍	小学校・第2学年・通常の学級
本人及び保護者の願い	本人：学習を一生懸命に頑張りたい。 保護者：注視や注意力の持続に課題が見られることから、当該学年の発達に近い注意力をもって学習に臨んでほしい。
適切な学びの場の具体	通級指導教室を活用して刺激が少なく、集中力が持続しやすい環境を整えた場を設定し、集中力・注意力を高める活動とその支援を行うことで、学びの質を高める。

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組

円滑な要因	通級指導教室を活用した学習の充実について、保護者や地域全体に周知し、理解を求めたことで、学びの場について理解を促すことができた。また、入学前から児童観察や教育相談を重ね、本人及び保護者の教育的ニーズを把握するとともに、小学校での指導体制及び環境整備の充実を図り、具体的な学びのイメージをもつことができた。
必要な取組	発達の状態に合わせて、学習環境や指導体制の拡充を図るとともに、その経過等について、丁寧に引継ぎ等に反省させる必要がある。

7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

第1回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：小学校

「幼児児童生徒の自己実現に繋がる適切な学びの場」に係る具体の取組や事例

所属・学年・在籍	小学校・第3学年・自閉症・情緒障がい特別支援学級
本人及び保護者の願い	本人・保護者：自閉症・情緒障がい特別支援学級から通常の学級に転籍し、友達とのかかわりをもちながら過ごしたい。
適切な学びの場の具体	通常の学級への転籍を視野に入れ、交流及び共同学習の中でグループ活動を実施し友達と協力して活動する。

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組

円滑な要因	教育相談を随時行い、本人・保護者の教育的ニーズを把握しながら、交流の内容や様子について保護者と共有を図ることができた。段階的に交流を行うことで、本人の困り感を把握し、必要な支援を行うことができた。
必要な取組	通常の学級に在籍後も支援が必要な場面について校内で共有し適切な支援を行う必要がある。

7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～



中学校

第1回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：中学校

「幼児児童生徒の自己実現に繋がる適切な学びの場」に係る具体の取組や事例

所属・学年・在籍	中学校・第1学年・自閉症・情緒障がい学級
本人及び保護者の願い	本人：自分に合った環境で先生や友だちと楽しく学びたい。保護者：子どもの意思を尊重したい。
適切な学びの場の具体	特別支援学級で自立に向けた学びを積み重ねる。

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組

円滑な要因	日常的に担任教諭と話ができ連絡帳のやり取りの中でも子どもの実態を把握できた。担任教諭が変わる際は学校と家庭と関係機関との支援会議を実施したことにより子どもと保護者の不安・不信感を解消できた。これらの積み重ねが子どもの適切な学びの場に繋がった。
必要な取組	学校と家庭と関係機関（福祉、医療）の連携し、地域全体で包括的な支援体制を構築する必要がある。

7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

第1回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：中学校

「幼児児童生徒の自己実現に繋がる適切な学びの場」に係る具体的取組や事例

所属・学年・在籍	中学校・第2学年・自閉症・情緒障がい学級
本人及び保護者の願い	本人:3年生で通常学級へ在籍変更し普通高校への進学を希望。 保護者:高校卒業し就職してほしい。
適切な学びの場の具体	交流および共同学習科目(音・美・保体)を交流学級で学習し、徐々に国語・数学を追加し、3年生進級時に通常学級へ在籍変更することを検討。

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組

円滑な要因	小学校在籍時に療育手帳を取得していない生徒であるが、小学校との引き継ぎや1年時の教育相談をもとに、卒業後の進路選択について個別の支援計画を策定し、交流科目参加や定期テスト受験、就学指導を段階的・発展的に実施することができた。
必要な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学卒業後の進路選択につながる早期の校内教育相談を実施する必要がある。 ・ 過度な負担とならないよう、計画的・段階的な交流及び共同学習を実施する必要がある。 ・ 校内支援委員会による学校全体への情報提供と、職員の共通認識を図る必要がある。

7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

高等学校

第1回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：高等学校

「幼児児童生徒の自己実現に繋がる適切な学びの場」に係る具体の取組や事例

所属・学年・在籍	高校（通信制）・第1学年・通常の学級
本人及び保護者の願い	本人：高等学校卒業資格を取得したい。保護者：子どもの夢を叶えてあげたい。
適切な学びの場の具体	本人へ過度な負担がかからない高校

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組

円滑な要因	不登校だったが、保護者の想いや本人の希望（普通級や普通高校に行きたい）に沿った進路を選択した。普通高校に入学するが中退し、現在は自分に合った学び方ができる場所を前向きに模索している。
必要な取組	学校と家庭と関係機関（福祉、医療）の連携を強化（不登校状態、特にASD児・者への支援は不可欠）し、地域全体で包括的な支援体制を構築する必要がある。

7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

第1回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：高等学校

「幼児児童生徒の自己実現に繋がる適切な学びの場」に係る具体の取組や事例

所属・学年・在籍	高校・第2学年・通常の学級
本人及び保護者の願い	本人・保護者ともに一般就労か福祉的就労かで悩んでおり、自分に合った仕事・働き方を見つけたい。
適切な学びの場の具体	<ul style="list-style-type: none"> ・すてっぷでの個別面談～障害者雇用の状況、福祉的就労と一般就労のメリット・デメリットの説明。自身の障害特性についての工夫や配慮が必要な点の整理。 ・長期休暇期間中の企業実習や就労支援事業所の見学体験の斡旋や紹介～企業実習の同行や評価振返りのサポート ・学校の3者懇談、進路相談にフィードバック。（自己決定による進路選択を支援する）

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組

円滑な要因	就労支援機関との連携により、本人の自己理解を深めることを促したり、適切な進路支援を実施することができた。
必要な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉へのつながりが必要なケースでは、学校とつながり先双方の状況を把握しながら調整や情報提供などを補助し、学校、本人・家族と福祉機関とのやりとりをスムーズに行う必要がある。 ・本人・家族にとって、「学校で顔を合わせたことがある」ということが、福祉機関への信頼感や安心感につながる。相談や福祉的な支援に対する心理的なハードルを下げ、困った時に相談しやすい関係性を、在学時から構築することが必要である。

7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

第1回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：高等学校

「幼児児童生徒の自己実現に繋がる適切な学びの場」に係る具体の取組や事例

所属・学年・在籍	高校・第3学年・通常の学級
本人及び保護者の願い	本人・保護者：特性に応じた専門的な指導を受けたい。
適切な学びの場の具体	SCや近隣の高等支援学校に協力してもらい、学校生活等の困り感に対する支援を行う。

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組

円滑な要因	個別の指導計画を作成し、高等支援学校の教員と共有し、教職員全員で共通理解や情報交換を行いサポート体制を整えている。
必要な取組	校内のサポート委員会において、学校生活を充実したものになるようにSCや高等支援学校と連携する必要がある。

7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

特別支援学校

第1回渡島教育局管内
特別支援連携協議会取組事例：特別支援学校

「幼児児童生徒の自己実現に繋がる適切な学びの場」に係る具体の取組や事例	
所属・学年・在籍	特別支援学校・第2学年・高等部（訪問教育）
本人及び保護者の願い	保護者：課外活動に参加させてあげたい。 本人：家以外の場所で同級生と一緒に活動に参加してみたい
適切な学びの場の具体	医療的ケアが必要な重度障害児の為、活動へ参加する為の支援や配慮された環境やケアができる体制が必要。

上記の取組や事例に係り、円滑に進めることができている要因や、改善に向けて必要と思われる取組	
円滑な要因	本人を取り巻く支援者が担当相談支援専門員に情報を共有する事で保護者からの情報と合わせて、本人にとって必要なタイミングで、学校の教育内容に合わせた個別の支援会議を開催できた。
必要な取組	学校の今後の課外活動の予定に伴う医療・支援者と状況を共有する必要がある。

7月テーマ
幼児児童生徒の自己実現に繋がる
適切な学びの場の具体

2月テーマ
学びの場の柔軟な見直しに繋がる
自立活動の指導の具体

地域における就学後の学びの場の柔軟な見直しに向けて
～実態に応じた適切な学びの場と指導内容の具体～

まとめ

インクルーシブ教育システム構築に向けて

- ・ 障害のある子供と障害のない子供が、**可能な限り同じ場で共に学ぶこと**を目指すべき
- ・ それぞれの子供が、**授業内容を理解し、学習活動に参加している実感・達成感**をもちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けているかどうかという最も本質的な視点に立つことが重要
- ・ その時点での教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、**多様で柔軟な仕組み**を整備することが重要
- ・ 小中学校等における通常の学級、通級による指導、特別支援学級や、特別支援学校といった、**連続性のある「多様な学びの場」**を用意していくことが必要

就学後の学びの場の柔軟な見直しとそのプロセス

基本的な考え方

子供一人一人の発達の状態、適応の状況、各教科等の学習の習得状況等を勘案しながら、**学びの場の変更や転学ができることを、保護者を含めた全ての関係者の共通理解**とする

子供の教育的ニーズの変化の的確な把握

子供の障害の状態等の変化に伴う 子供一人一人の教育的ニーズの変化を的確に把握するとともに、**個別の教育支援計画や個別の指導計画のP-D-C-Aサイクルの充実**に努める

継続的な教育相談の実施

障害の状態等の変化による転学については、対象となる子供が在籍する校長の思料により、その検討が開始されることから、**継続的な就学に関する教育相談を行う**ための体制の整備、専門家チームの派遣や定期的な巡回相談等を通じた、各学校への支援が必要である

在籍校と教育委員会が連携した学びの場の変更

就学後も定期的に教育相談を実施し、**個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づく関係者による会議**などを行い、それらの計画を評価・改善していく中で、**必要に応じて就学先となる学校や学びの場の変更の必要性について検討**する

学びの場の見直しに当たっての本人及び保護者との合意形成

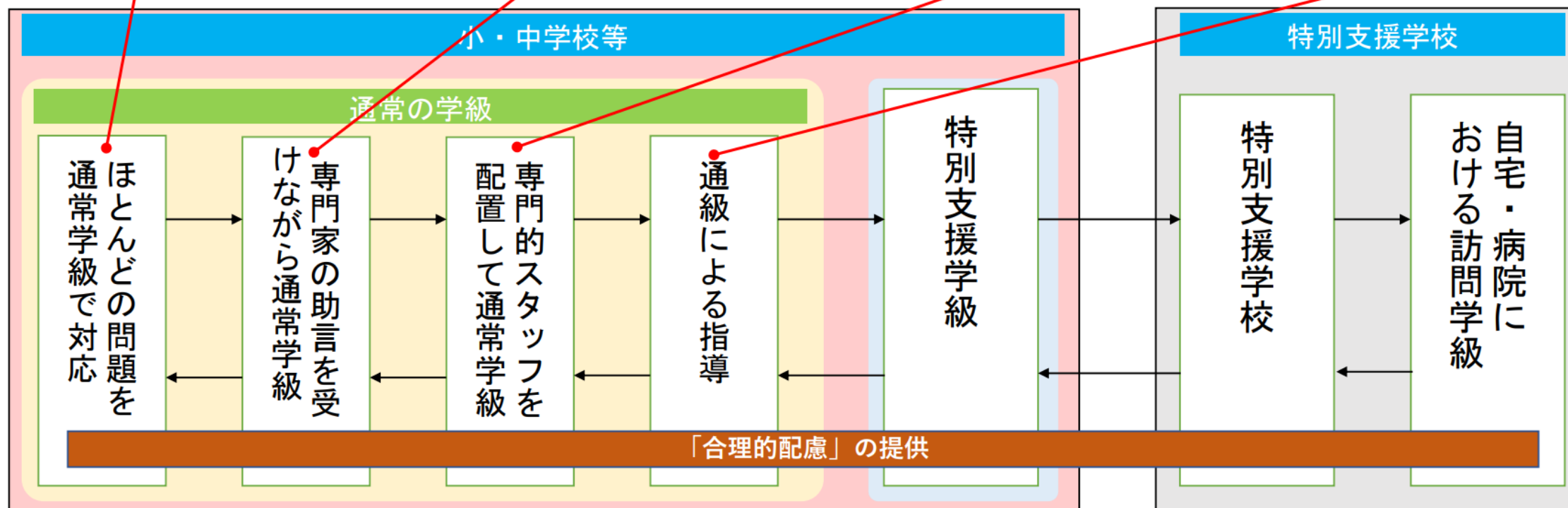
「多様な学びの場」における検討の視点

①誰もが分かりやすい授業づくりができていますか？

②特別支援学校等の助言を生かした配慮や支援を取り入れていますか？

③学習支援員等を配置した個に応じた指導を行っていますか？

④自立活動の指導を行っていますか？



特別支援学級を考える前に、上記4つの視点で、通常学級で学べるように指導や支援を行うことが大切です。

「自立活動」に関する理解の必要性

個々の児童又は生徒が自立を目指し、**障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達**の基盤を培う。

自立活動で基盤を作らないと、教科等が積み上がらない

各教科等において育まれる資質・能力

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

学びに向かう力、人間性等

支える役割

自立活動の指導

人間としての基本的な行動を遂行するために必要な要素

障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な要素

全ての学校の先生が、**自立活動に関する理解を深める**必要がある。